

動物実験に関する自己点検・評価報告書

佐賀大学

平成28年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則、佐賀大学動物実験安全管理細則 佐賀大学動物実験の教育訓練についての申合せ 佐賀大学以外の機関において動物実験等を実施する場合の申合せ 佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理規則、佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理細則 佐賀大学病原体等安全管理規則、佐賀大学病原体等安全管理細則 実験動物飼育管理標準操作手順書、飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則 平成27年度動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則、佐賀大学動物実験安全管理細則、 審査用紙
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程等に基づき動物実験計画書等の様式が定められており、審査、承認、結果報告等の実施体制が整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理規則、佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理細則 佐賀大学放射性同位元素等安全管理規則、佐賀大学鍋島地区放射線障害予防規程 佐賀大学病原体等安全管理規則、佐賀大学病原体等安全管理細則 実験動物飼育管理標準操作手順書、飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等について機関内規程等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置承認申請書、調査報告書、承認等通知書、 飼養保管施設・実験室一覧 実験動物飼育管理標準操作手順書、飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各飼養保管施設においては、実験動物管理者が置かれており、実験動物飼養保管基準に沿った飼養保管手順書やマニュアル等が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

両生類（ウシガエル）については、規則上、実験動物に含めないが、準用規定による動物実験計画書の審査を実施している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会記録、専門委員会記録

動物実験計画書、審査用紙、審査結果通知書

動物実験結果報告一覧、動物実験結果報告書、動物実験経過報告一覧、動物実験経過報告書

実験室設置承認申請書、調査報告書、調査結果及び承認通知書

飼養保管施設の管理状況調査表

教育訓練実施記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会は、動物実験計画書の審査等、適正な活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書

動物実験結果報告一覧、動物実験結果報告書、動物実験経過報告一覧、動物実験経過報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会の審査において、動物実験計画への助言・指導等が行われており、適正に動物実験が実施されている。

また、平成27年度に終了したすべての実験の動物実験結果報告書は、委員会に報告されている。
今後は、国動協の第2期外部検証プログラム（平成27年度～）に紹介されている動物実験責任者による「動物実験の自己点検票」による自己点検も取り入れ、よりいっそうの現状確認に努めるべきであると思われる（平成27年度は未実施）。

4) 改善の方針、達成予定時期

動物実験責任者の「動物実験の自己点検票」による自己点検については、平成28年度以降に終了する動物実験計画を対象として導入を検討する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物の死亡、事故等の記録
動物実験計画書、動物実験結果報告書、動物実験経過報告書
遺伝子組換え実験申請書、遺伝子組換え実験終了届出書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管マニュアル（各施設）
動物受入書、検収・検疫記録、動物飼育記録
作業日誌、保守点検記録、空調・換気扇フィルター清掃状況、電気設備巡視点検記録
平成27年度総合分析実験センター設備整備マスタープラン
微生物モニタリングの記録（マウス、ラット、ウサギ）
自己点検票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

各飼養保管施設で必要な事項について飼養マニュアルを作成し、それに基づいた適正な飼養保管が

なされている。しかし、ウサギの飼養保管状況において、一部のウサギが日常的な動作を行うための空間が十分に確保できていない懸念がある（H25年度の外部評価における指摘事項）。鍋島地区の動物実験施設においては、定期的な微生物モニタリングが行われている（H26年度からは、マウスだけでなく、ラット、ウサギについても検査を実施）。

4) 改善の方針、達成予定時期

国際基準に対応したウサギケージへの速やかな更新を行うため、費用の早期獲得に向けて予算申請に努めたが、予算獲得に至っていない。引き続き予算獲得に努める。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設設置承認申請書、調査報告書
実験室設置承認申請書、調査報告書
空調設備等保守点検記録、電気設備巡視点検記録
医学部平面図（H24）、医学部平面図（H28.2）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

一部の実験室において、平成27年度から建物の改修工事が行われており（一部は完了、一部は平成28年度に完了予定であり）、承認当時の設備等が維持されているか確認できていないものがある。また、本庄キャンパスの飼養保管施設に関しては、ケージの洗浄機器や滅菌装置の導入等の改善が求められるものもあるが、予算の確保が困難であるため、ケージの洗浄方法・殺菌法をこれまでのアルコール消毒から次亜塩素酸消毒に切り替えるなど作業手順の見直しで対応している状況がある。（現状において、適切な温湿度の範囲内に保たれていることを確認している。）

4) 改善の方針、達成予定時期

建物改修工事（主に耐震補強工事）が完了した後、承認済みの飼養保管施設及び実験室について、平成28年10月から12月を目途に委員会による視察を行い、必要に応じて改善等の指導を行う。飼養保管施設に関しては、現状で適正な範囲内で維持管理されていると判断されるが、（H25年度の外部評価での意見を参考に）よりよい飼育環境維持・向上のための検討を継続する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験の実施計画書、教育訓練実施記録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

機関内規程等にしたいがい、教育訓練が実施されており、実施記録も適切に保管されている。

また、教育訓練内容に関しては、人獣共通感染症に関する内容が追加され、国際的な規制の動向及び科学的知見に関する最新情報も取り入れられている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験に関する自己点検・評価報告書 (H19-H26年度)

佐賀大学のウェブサイト (法定公開情報のページにおける「動物実験に関する情報」)

<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/animal.html>

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

自己点検・評価は適切に実施されており、佐賀大学における動物実験等に関する情報も情報公開もインターネット (佐賀大学のウェブサイト) を利用して適正に行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし